

「念書」の記入例

様式交第7（被保険者用）

念書

① 交通事故証明書の発生日時並びに発生場所をご確認のうえご記入ください。

① 令和 4 年 4 月 1 0 日（**〇〇市〇〇1234番地**）において（**山口 花子**）の不法行為

② 第三者（事故の相手）の方の氏名をご記入ください。

③ あなた（おケガをされた方）の氏名をご記入ください。

③ 被保険者名により（**国保 太郎**）の被った負傷について ④ 国民健康保険法による保険 高齢者医療確保法による医療 給付を受けた場合は、介護保険法による介護

④ 国民健康保険の方は「国民健康保険法による保険」、後期高齢者医療の方は「高齢者医療確保法による医療」、介護保険の方は「介護保険法による介護」を○で囲んでください。

⑤ ④と同じく被保険者証により診療を受けた保険制度を○で囲んでください。

⑤ 国民健康保険法第64条第1項 私が第三者に対して有する損害賠償請求権を 高齢者医療確保法第58条第1項の規定によって貴保険者が介護保険法第21条第1項

給付の価額の限度において取得、行使し、かつ賠償金を受領することに異議のないことをここに書面をもって申し立てます。

なお、併せて下記の1、2及び3については遵守することを誓約し、4については同意します。

記

⑥ 提出される日付を記入してください。

- 1 第三者と示談を行おうとする場合は、必ず前もってその内容を保険者へ申し出ること。
- 2 第三者に白紙委任状を渡さないこと。
- 3 第三者から金品を受けたときは、受領年月日、内容、金額（評価額）をもれなく、かつ遅滞なく保険者へ届け出ること。
- 4 本件事故に係る損害賠償請求権行使のために必要な診療状況、その他私に関する一切の個人情報を、保険者及び保険者から委託を受けている山口県国民健康保険団体連合会が取得、利用することに同意します。

誓約及び同意していただく内容

- 1 保険者（市町・国保組合・後期高齢者医療広域連合）も第三者に対して損害賠償請求権を取得しているため、あなたと第三者（相手）間だけの問題ではありません。
示談を結ぶ際は、保険者（市町・国保組合・後期高齢者医療広域連合）へご相談ください。
- 2 事故に対する損害賠償の内容は、第三者（相手）が一人で決めるものではなく、話し合い後、双方同意のもとで決定するものです。
第三者に白紙委任状を渡すことのないよう注意してください。
- 3 第三者（相手）から受けた金品によっては、国民健康保険、後期高齢者医療または介護保険で支給した医療費（介護給付費）が含まれている場合があるので、その事実を届け出てください。
- 4 本件の事故に係る損害賠償請求権の行使のために必要な情報（受診した医療機関等の診療状況や損害保険会社等への損害賠償請求及び損害賠償金受領（内訳を含む）状況等）を受けると及び損害賠償請求に必要な資料（診療報酬明細書（介護給付費請求書）や実況見分調書等の事故状況資料等）を取得し利用することをご了承いただくことです。

⑦ この念書の趣旨を十分に理解したうえで、署名押印してください。

責任の判断能力のない未成年者または心神喪失者の場合は監督義務者または監督者が署名してください。

⑥ 令和 4 年 4 月 1 2 日

⑦ 住所 **△△市△△5678番地9**

氏名 **国保 太郎**



(注) 第三者（事故の相手）の方（賠償責任者）が複数いる場合は、第三者それぞれにつき1枚作成してください。

△△市長 様